

# リネゾリド点滴静注 600mg/300mL「HK」 適正使用のお願い —視神経障害の発現について—

2019年6月  
光製薬株式会社

オキサゾリジノン系合成抗菌剤であるリネゾリド点滴静注 600mg/300mL「HK」（一般名：リネゾリド、以下本剤）の投与にあたっては、添付文書において、治療上必要最小限の期間にとどめること、また、視神経障害があらわれることがあり、さらに視力喪失に進行する可能性があるため28日を超えないことが望ましいこと、の注意喚起を行っています。しかし、他のリネゾリド製剤において重篤な視神経障害が報告され、その中には未回復の症例も含まれていたとのことから、本剤においても注意して頂く必要があります。

本剤の投与に際しては、視神経障害の早期発見、重篤化防止のため、下記事項に留意していただきますようお願い申し上げます。

## 本剤の投与期間および視神経障害に対する注意

### 《本剤の投与にあたって、次の点に十分に注意してください》

- ◆投与期間は、感染部位、重症度、患者の症状等を考慮し、適切な時期に本剤の継続投与の必要性を判定し、疾病の治療上必要最小限にとどめること。
- ◆28日を超える投与の安全性および有効性は検討されていないため、28日を超えて投与しないことが望ましいこと。
- ◆28日を超えて投与した場合、視神経障害が発現し、さらに視力喪失に進行する可能性があること。
- ◆本剤の投与中は、患者の視力等の眼の状態について十分に観察・問診を行うことが必要であり、異常が認められた場合には、投与中止、眼科医への相談など適切な処置を行うこと。

### 《本剤の投与を受ける患者に対して、次の点を十分に説明してください》

- ◆本剤の投与により、視神経障害等の眼の異常があらわれることがあること。
- ◆下記のような症状があらわれた場合には、直ちに主治医に連絡すること。  
視力低下・色覚異常・霧視（かすみ目）・視野欠損（見えない部分がある）など

※本剤の「警告」「禁忌」を含む「使用上の注意」等の詳細については最新の添付文書をご参照ください。